



大図研京都ワンディセミナー

終了しました

今回、アリゾナ大学の皆様をお迎えし、ヘルスサイエンス図書館における「エンベディッド・ライブラリアン」サービスをお話いただきます。あわせて日本の大学図書館員の調査報告として、富山大学附属図書館金田様よりコーネル大学・ミシガン大学の図書館における、他部署と連携した学習支援サービスのお話をいただきます。より利用者に近づいたサービスの提供へと取り組むための一助として「エンベディッド・ライブラリアン」の理解を深める契機としたいと考えています。

日 時：2018年11月4日（日）14:00-16:50（13:45 開場）

会 場：京都ノートルダム女子大学ソフィア館 5階 S502 教室

登壇者：

サンディー・クレイマー氏（アリゾナ大学ヘルスサイエンス図書館 副館長）

マリオン・スラック氏（アリゾナ大学 薬学部教授）

ジェニファー・マーティン氏（アリゾナ大学ヘルスサイエンス図書館 司書）

鎌田 均氏（京都ノートルダム女子大学 准教授）

金田 佳子氏（富山大学学術情報部図書館 利用支援課）

主 催：大学図書館問題研究会京都地域グループ

参加費：会員 無料 非会員 500円

参加者：20名

[目次]

大図研ワンディセミナー 終了しました	…	1
大学図書館問題研究会京都地域グループ第41回京都地域グループ総会議案	…	2
第1号議案	…	2
第2号議案	…	7
第3号議案	…	9
議事メモ・補足事項	…	9
会費納入のお願い	…	10

○ ご意見・ご要望、投稿は下記、電子メールまたは URL へお寄せください。

電子メール：kyoto@daitoken.com（大学図書館問題研究会京都地域グループ）

URL：<http://www.daitoken.com/kyoto/index.htm>

大図研京都地域グループ会員の皆様へ

地域グループ総会を下記の要領で開催しました。

記

日時：平成 30 年 7 月 27 日（金）

総会：19:00～20:00

会場：綴（京都市下京区 烏丸 通松原上ル東側因幡堂町 728）

<http://tabelog.com/kyoto/A2601/A260201/26003488/>

本号に、当日議決されました、以下の議案と当日の議事メモ・補足事項を掲載しておりますのでご覧ください。

【第 1 号議案】

2017/2018 年度(2017.7～2018.6)活動総括及び 2018/2019 年度(2018.7～2019.6 活動方針)

【第 2 号議案】

2017/2018 年度決算案(2017.7～2018.6)及び 2018/2019 年度予算案(2018.7～2019.6)

【第 3 号議案】

2018/2019 年度大学図書館問題研究会京都地域グループ運営委員

大学図書館問題研究会京都地域グループ
第 41 回京都地域グループ総会議案

【第 1 号議案】

2017/2018 年度(2017.7～2018.6)活動総括及び 2018/2019 年度(2018.7～2019.6 活動方針)

1.2017/2018 年度総括

(1) 研究交流活動

2017 年度の研究交流活動の目標として、勉強会的な企画だけでなく、交流を軸とした企画も検討し、年 4 回程度は開催し、新規会員を増やすきっかけ作りともするとしました。結果、企画は以下の通り 3 回、新規会員は 1 人となりました。なお、新規会員まではつながっていませんが、以下の 2) 3) の企画では普段参加されない方もいたので、新規加入につながるよう継続して取り組みたいと思います。

1)名称:秋の花背リゾート 森林散策と BBQ

日時:2017 年 11 月 3 日（金）

会場:京都花背リゾート山村交流の森

参加者数：9 名

【参加者の声】

京都市内から車で1時間半、1000haの森林公園でおいしい空気と緑に触れて、おいしいお肉を食べて、普段パソコンを見すぎて疲れた目を休めることも出来き、楽しい1日となりました。

2) 名称: 大図研関西3地域グループ合同例会

日時: 2018年3月10日(土)

会場: 京都市国際交流会館 第1・2会議室

内容: 「これからの大学図書館システムを語る」

～国内初、慶応義塾大学と早稲田大学の2020年図書館システム共同運用の背景～

講師: 入江伸氏(慶應義塾大学メディアセンター)

参加者数: 54名

備考: 京都・大阪・兵庫地域グループ共催終了後、懇親会開催

【参加者の声】

とても勉強に、というか耳の痛い部分もありましたが響きました。

入江さんの話がわかりやすく面白かったです。率直かつウィットにとんだ話の展開をありがとうございました。

大学それぞれの問題があるんだなあと質問者の皆さんからも教わりました。

大変刺激になる企画でした。

3) 名称: 大図研京都ワンディセミナー

日時: 2018年5月20日(日)

会場: 梅小路公園 緑の館2階 和室

内容: 「“羊さん”こと水知せりさん(漫画家)が語る「“学術情報の伝達”と“利用者の活用術”」

講師: 水知せり氏(漫画家)

参加者数: 18名

備考: 終了後、懇親会開催

【参加者の声】

図書館のあり方、マンガ、法律など色々な話をきけて刺激を受けました。

実際に問題意識を持って活動されている方の話をきくことができて良かった。

こんなに法律の話が出るとは思っていませんでしたが、おもしろかった。

水知さんの漫画の背景にある様々なコンセプトについて伺えて興味深かったです。

図書館のあり方を考えるきっかけにもなりました。

(2) グループ報

2017年度刊行分につきましては、全国大会を京都で開催した都合上、発行期日の遅れが生じたため、合併号として刊行する号も出ましたが、計画的発行に努めました。

イベントを開催するたびに、参加者に参加報告の執筆を依頼し、京都地域グループの活動を会員の皆さんに知ってもらえるよう努めました。

2017年度発行したグループ報の目次は、次のとおりです。

1) グループ報 No.319-320 (2017/08/15-2017/10/15 発行)

- ・大学図書館問題研究会京都地域グループ第39回京都地域グループ総会を開催いたしました
- ・大学図書館問題研究会京都地域グループ第39回京都地域グループ総会議案
- ・第1号議案

- ・第2号議案
- ・第3号議案
- ・議事メモ・補足事項
- ・会費納入のお願い

2) グループ報 No.321 (2017/12/15 発行)

- ・大図研京都ワンディセミナーのご案内
- ・グループ委員 挨拶
- ・祝！大図研 全国大会@京都 プレ企画「暑い京都をビールで乾杯」に参加して(安東 正玄)
- ・全国大会のご案内
- ・会費納入のお願い

3) グループ報 No.322-323 (2018/02/15-2018/04/15 発行)

- ・大図研第49回全国大会(九州)のご案内
- ・秋のお楽しみ企画 BBQ 報告 バーベキューは好きですか?(山下 ユミ)
- ・本の紹介 第9回 『強い文教、強い科学技術に向けて：客観的視座からの土俵設定』(坂本 拓)
- ・支部報 No.321 に関するお詫び
- ・会費納入のお願い

4) グループ報 No.324 (2018/06/15 発行)

- ・大学図書館問題研究会京都地域グループ第40回京都地域グループ総会のご案内
- ・大学図書館問題研究会京都地域グループ第40回京都地域グループ総会議案
- ・京都地域グループ委員の募集について

(3) Web サイト、メーリングリスト、メールマガジン

Web サイトでは、イベントのお知らせや、グループ委員会の報告等、グループ活動の記録を定期的かつ迅速に掲載しています。2011年度に開始したグループ報電子版は創刊号から最新号まで、一部許諾の得られなかった記事を除き、全て掲載しています。

メールマガジンは、「大図研京都地域グループ News Letter」として、no.239(2017年8月2日)から no.253(2018年6月29日)を発行しました。グループ活動をお知らせするものとして、グループ委員会議事録、グループ企画案内を紹介する記事を配信しています。また、図書館関係のイベント案内を月1回に配信しています。さらに Twitter の活用を図り、708アカウントのフォロワーを得ています。

忘年会やワンディセミナーの告知、セミナー内容のツイートやそのまとめ作成、グループ報発行の広報を行いました。

(4) 組織活動

63名の地域グループ会員の皆様に支えていただき活動しました。

2017/2018年度当初よりも4名減少しました。都合による退会者が5名であった一方で、新規入会者は1名でした。

ワンディセミナーや全国大会は多くの非会員に対して大図研や京都地域の活動をアピールする場でもあり、会員獲得に努めました。

(5) 財務

今年度、全国大会収益、寄附金、セミナー参加費があり、財務基盤の脆弱化について当面の緩和がなされました。また、一括徴収前の大図研会費未納分を損失として計上しました。

(6) 広報とデザイン

大図研京都ワンディセミナー「これからの大学図書館システムを語る」のポスターを作成しました。

ポスターを作成できなかった企画もありましたが Web サイトを有効活用し、広報・周知に努めました。

(7) その他

第 48 回全国大会は、2017 年 9 月 9 日～11 日の日程で同志社大学新町キャンパスにて開催し、参加者数は 122 人でした。

また、例年どおり「大学の図書館」の 1 号の編集を担当し、5 月号（特集：オープンアクセスポリシーどうですか？）を作成しました。

2. 2018/2019 年度活動方針

(1) 研究交流活動

1) 会員の発表の場としての研究交流活動の企画に積極的に取り組みます。

- ・会員の知的交流の場であると共に非会員への広報でもあるという意味を再認識し、組織拡大への貢献も大きな柱といたします。
- ・勉強会的な企画だけでなく、交流を軸とした企画も検討し、年 3 回程度は開催できるようにします。

2) 現在計画中の企画の紹介

米国の大学図書館では、近年 **Embedded Librarian** (エンベディッド・ライブラリアン) という、サービスの基点を利用者の研究・学習活動に置いたサービスモデルが話題にされていることをご存知ですか？従来のリエゾン・ライブラリアンやサブジェクト・ライブラリアンとは異なるモデルで、実際にアメリカで活躍されているライブラリアンをお呼びする企画を準備中です。乞うご期待！

(2) グループ報

定期発行と正確で読みやすい誌面の作成とともに、広く寄稿を求めかつ連載記事を企画することにより、コンテンツの一層の充実に努めます。今後も、会員に「発表の場を提供する」という目標のもと、会員間での情報共有が進むためのきっかけを提供することを目指し、引き続き努力していきます。

(3) Web サイト、メーリングリスト、メールマガジン

Web サイトを随時更新することで、京都地域グループが主催・共催する種々の活動情報や電子化されたグループ報記事を迅速に提供します。その他のコンテンツの拡充についても継続して検討していきます。また、グループ委員で使用しているサイボウズ live のサービスの終了を受け、代替のグループウェアを検討していきます。

また、メールマガジンについて、より読まれるような内容にする工夫を継続するとともに、配信のタイミングについて検討していきます。同時に、メーリングリスト"ゆりかもめ"についてもその目的である「会員相互の親睦と交流を盛んにすること」の達成を目指し、会員による自由な投稿を促進するよう検討を重ねます。

さらに広報活動の一環として **Twitter** アカウントの積極的活用を継続します。

(4) 組織活動

ワンディセミナー、各種イベント、グループ報、ホームページ、メールマガジン、SNS等を通じ、京都地域の持つ魅力を認識し、高め、入会者が大図研京都地域グループに在籍していることにより一層価値が見いだせるような活動を行います。

(5) 財務

今後も活発な研究交流企画実施のため、多くの研究交流会費を計上しますが、同時にグループ会員の会費の前納を勧めること、グループ助成金の増額を目指すこと、経費節減や見直しが必要になります。

(6) 広報とデザイン

ワンディセミナーやその他交流会等において、引き続きポスター・チラシ作成、Webサイト等の広報活動に努めます。また、特定の委員に業務が集中しないよう体制の見直しを検討し、さらに効果的な広報を目指します。

【第2号議案】

2017/2018 年度決算案 (2017.7~2018.6)

(単位:円)

総収入	総支出	差引残高
632,649	251,187	381,462

■収入の部

(単位:円)

項目	予算	決算	差引額	備考
前年度繰越金	176,989	176,989	0	
2017 年度 地域グループ会費	128,000	108,000	-20,000	54 名 × 2,000 円
未納会費	110,000	91,000	-19,000	14 名 × 2,000 円、徴収不能移行前未納会費(地域グループ移行前 9 名分)
地域グループ助成金	15,000	15,000	0	
セミナー参加費	20,000	18,500	-1,500	
大図研出版物支部 卸頒布	10,000	4,400	-5,600	
寄附金	0	218,760	218,760	全国大会収入、懇親会
合計	459,989	632,649	172,660	

■支出の部

(単位:円)

項目	予算	決算	差引額	備考
会報	60,000	44,465	15,535	印刷費 10,800 円 / 送料 33,665 円
研究交流会費	250,000	125,666	124,334	
大図研出版物支部 卸購入	6,000	9,760	-3,760	
事務費	10,000	1,576	8,424	
地域グループ委員会 活動費	10,500	4,720	5,780	グループ運営委員会会場費、グループ委員交通費補助
特別事業費	20,000	2,000	18,000	学生会員割引
未納会費	0	63,000	-63,000	徴収不能移行前未納会費(地域グループ移行前 9 名分)
予備費	103,489	0	103,489	
合計	459,989	251,187	208,802	

2017/2018 年度大学図書館問題研究会京都地域グループ会計監査報告

帳簿および現金は適正に保管・記載されていた。

2018 年 7 月 27 日

金森悠一 (印)

2018/2019 年度予算案 (2018.7~2019.6)

□収入の部

(単位:円)

項目	予算	備考
前年度繰越金	381,462	
2018/2019 年度地域グループ会費	110,000	55名×2,000円
未納会費	26,000	2017年未納会費14,000円、2016年未納会費12,000円
地域グループ助成金	18,000	
セミナー参加費	10,000	
大図研出版物支部卸頒布	10,000	
合計	555,462	

□支出の部

(単位:円)

項目	支出	備考
会報	60,000	印刷費(20,000円)/送料(40,000円)
研究交流会費	250,000	
大図研出版物支部卸購入	9,600	8冊×2種類(@600円)
事務費	10,000	
地域グループ運営委員会活動費	10,500	2,100円×5回
特別事業費	20,000	
予備費	195,362	
合計	555,462	

決算

- ※活発にセミナーを行い、研究交流会費を執行しました。
- ※グループ委員会の会場として地域グループ委員会活動費を使用しました。
- ※新グループ会員増のため、特別事業費を利用し、学生会員に学生会員割引を行いました。
- ※研究交流会費に含むセミナーちらし印刷費をポイント等により削減しました。
- ※会報は合併号があったため、予算より少なくなりました。
- ※事務費の内訳は主に事務用品です。
- ※大学図書館問題研究会全国大会が京都で開催され、収入の一部について京都地域グループに繰り入れが行われました。
- ※一括徴収前の未納会費について連絡不能など徴収が困難な状況が続き、損失として計上しました。

予算

- ※来年度も活発な研究交流会を行うため今年度どおりを研究交流会費として計上します。
- ※来年度も会員増のため特別事業費を設定しています。
- ※グループ委員会の会場として継続してグループ委員会活動費を計上します。
- ※地域グループ助成金が地域グループ所属人数30名-69名15,000円から18,000円へと増額になりました。

【第3号議案】

2018/2019年度大学図書館問題研究会京都地域グループ運営委員

グループ委員 (50音順)

安東	正玄	(立命館大学法学部事務室)
内田	栞	(京都大学附属図書館)
坂本	拓	(京都大学附属図書館)
寺升	夕希	(滋賀医科大学附属図書館)
長坂	和茂	(京都大学工学研究科桂建築系図書室)
野間口	真裕	(京都大学北部構内事務部)
原	健治	(同志社大学文学部・文学研究科事務室)
山形	知実	(北海道大学附属図書館)
山上	朋宏	(京都大学経済学部図書室)
山下	ユミ	(京都府立図書館)
若狭	あや	(京都大学吉田南総合図書館)
鷺津	彩乃	(名古屋大学附属図書館)

監査委員

金森	悠一	(京都教育大学附属図書館)
----	----	---------------

全国委員

安東	正玄	(立命館大学法学部事務室)
----	----	---------------

特別グループ委員

赤澤	久弥	(京都大学附属図書館)
渡邊	伸彦	(国際日本文化研究センター)

<大学図書館問題研究会第41回京都地域グループ総会 議事メモ・補足事項>

参加者：11名

会員の皆様にグループ総会当日の様子を知って頂くために、簡単に当日の様子をお知らせします。

各担当より、第1号議案について説明があり、原案のとおり了承されました。
会員から連絡があったものを含め、以下の意見がありました。

(意見)

第1号議案の2. 2018/2019年度活動方針 (1) 研究交流活動に関して、項目の階層が、他と合致していないのではないか。

(回答)

公開の際には、他と整合がとれるように修正する。

野間口グループ代表（当時）から、第2号議案について説明があり、了承されました。

（意見）

もう少し、地域グループ委員会活動費を増額し、遠方のグループ委員が委員会等に
参加できる機会を増やしてはどうか？

（回答）

遠方のグループ委員を講師としたイベント等を企画することによって、そのような
機会を設けることを検討したい。

（意見）

2017/2018年度決算案に関して、予算の時点で、収入の合計と支出の合計が合致し
ていないのではないかと？

（回答）

転記の誤りであるため、公開の際には修正をする。

（意見）

決算欄の表記について、予算額に対する過不足の表現がわかりにくいのではない
かと？

（回答）

次年度、改めて検討したい。

グループ委員、監査委員、全国委員については、第3号議案のとおり選出されました。

（意見）

山下委員の所属が、以前のものであるため、公開の際には修正が必要である。

◇ 会費ご納入のお願い ◇

会員のみなさまにおかれましてはご健勝のことと存じます。

2016/2017年度(2016年7月～2017年6月)より、大学図書館問題研究会会費は、すべての会員の
皆さまに、直接大学図書館問題研究会事務局へご納入いただくこととなりました。

一括徴収方式に移行し、3年目となりますが、京都地域グループは年度継続の前に会費をご納入
いただく前納があまり進んでいない状況でございます。ワンデイセミナーやグループ報は京都地域
グループ費により開催・発行させていただいております。ご多忙のところ大変恐縮ですが、会費の
ご納入のほどよろしくお願いいたします。

会費は、¥7,000(大図研会費：¥5,000+京都地域グループ費：¥2,000)/年度です。

【振込先】

郵便局 00190-2-79769 大学図書館問題研究会

■銀行名 ゆうちょ銀行 ■金融機関コード 9900 ■店番 019

■預金種目 当座 ■店名 〇一九(ゼロイチキューウ店) ■口座番号 0079769

ご不明な点は大学図書館問題研究会事務局(会費担当)(kaihi@daitoken.com)までご連絡ください。

※ 学生会員制度(試行)として、学生の方には特典をお渡ししております。

詳細は京都地域グループ Web サイトの「学生会員制度の試行について」をご覧ください。